

## 第24回

# 留学生里親・里子だより

留学生さとおやの会事務局 〒540-8508 大阪市中央区森ノ宮中央1-6-20 (株) サクラクレパス内 TEL: (06) 6910-8800  
FAX: (06) 6910-8837 HPアドレス: <http://www.craypas.com/satooya/index.html>

2016年3月発行

## 新年交流会

幹事 水落 いづみ

恒例の新年交流会が今年も1月16日(土)に大阪日本語教育センターで盛大に開催されました。3階の大教室に総勢110名がぎゅうぎゅうに座って、軽食を食べながら、おしゃべりしたり、アトラクションを見たり、ビンゴに興じたりしました。

ボランティアの方には開始の何時間も前から来ていただいて、30名余りの学生に和服を着せていただきました。女の子は華やかに、男の子はりりしい様子で写真に納まりました。

アトラクションは田仲さんご家族の日本舞踊「蓬莱」からはじまり、「夜空」、「黒田節」と続きました。そのあと、児玉さんの詩吟「白帝城」、西村さんご家族の歌、太田さんご家族の留学生の馬頭琴の演奏、松浦さんご家族の留学生の「天竺の踊り」がありました。武島さんはまず、漫才、それからご家族で「なだそうそう」を歌われました。大阪日本語教育センターからはミャンマー、タイ・ラオスの留学生のグループが国の踊りを披露しました。

そして、お楽しみのビンゴ大会です。おなじみの磯田先生の司会で、それぞれがお気に入りの賞品を手に入れました。

新人幹事の私とは言いますと、前任者の西澤先生に替わって幹事を務めるようになって初めての新年交流会です。この催しについては、大阪日本語教育センターの交流行事として昔から知ってはいたのですが、実際に参加するのは初めてです。西澤先生や唐澤先生が熱心に携わっていらっしやっただのを見ていましたので、私もがんばらなければと少々緊張して臨みました。

多くの家族が一堂に会することで、より一層交流が豊かになるのだなあと感じました。私自身、学生の学校とは違った一面を見たり、何年も前の卒業生に会って成長ぶりに驚いたり、様々な発見がありました。

この会が来年、再来年と里親と里子のきずなを深めるものになってほしいと思います。ご協力、お手伝いいただきました皆様に心よりお礼を申し上げます。どうもありがとうございました。





私は去年の4月に日本に来ました。その時私にとってちょっと寒いですが、桜はもう咲いていました。普段テレビやインターネットで見られなかった桜をやっと実際に見ることができました。そして私の日本の生活がはじまりました。日本に来てからいろいろな食べ物を食べましたが、一番好きな料理はお寿司です。私はよく回転寿司に行きます。回転寿司ではお寿司はいつも回っているので、目の前に回ってくるとお腹がもういっぱいになっていても、また食べたくなってしまいます。

私が一番よく行くところは難波です。難波は寮から近くて何でもあるからよく買い物に行きます。梅田も行きますが、広すぎていつも迷ってしまいます。普段は地下鉄で難波に行きます。日本のものでは便利で速いから私は地下鉄が好きです。私のふるさと、ソロでは地下鉄がなくて、市内の交通機関はバスがあるけれど本数が少なくなくて人々は不便だと思っています。だから人々は自分の車や



バイクに乗るため渋滞になることが少なくありません。

インドネシアも暑いから日本の夏はきっと大丈夫だと思っていたけど、違いました。日本の夏は蒸し暑くて、息が苦しいと感じました。夏休みに私は東京に行って富士山にも行きました。秋になって、もう暑くないし寒くもなくてちょうどいいと思いました。だから私は秋が一番好きです。私は紅葉見

たかったけど見るチャンスはなかったです。

今年初めて日本で新年を迎えました。日本の大晦日は静かでした。インドネシアでは12月31日の時は賑やかで、夜9時から花火の音がもう聞こえてきます。新年交流会で初めて着物を着ました。ちょっと苦しくて普段の洋服のように動けないけど、着物を着る機会はありませんので、しかも髪も整えてもらってとても嬉しかったです。新年交流会の時他の家族のパフォーマンスを観たりビンゴゲームしたりしてとても楽しかったです。ありがとうございました。

昨年、私は大阪日本語教育センターからこのホストファミリープログラムを紹介してもらいました。その時に、これは二度とないいい機会だと思ってすぐにこのプログラムに申し込みました。やがて、里親対面が行われました。だれも知らない私はとてもはずかしくてきんちょうしました。しかし、初めて里親さんにお会いして、すぐにきんちょうがなくなりました。それはすぐホストファミリーの暖かさが感じられたからです。その上、私は一人だけではなく、香港とネパールから来た友達も同じ里親さんにお世話になることになったので、心強かったです。しばらくお茶を飲みながら話しているうちに、皆だんだん仲良くなってきました。その後、私達は一か月に一回食事がありました。ホストファミリーと留学生たちと一緒に晩ごはんを作って食べるのはとても楽しかったです。毎月一度も食べたことがないさまざまな日本料理を体験することができたからです。それに、



自分で言うのはおかしいかもしれませんが、自分の料理を食べてみて本当においしいと思いました。タイははしでご飯を食べる習慣のない国ですから、はしでご飯を食べるのは私にとってかなり大変なことです。お母さんがはしの持ち方を教えてくれて、だんだんできるようになってきました。

また、去年の9月ごろに里親会のメンバーと一緒に滋賀県へ見学旅行に行く機会がありました。ヤンマーミュージアムで初めて農業



することも体験できたし、彦根城で日本の歴史も教えてもらいました。みんなは疲れを忘れるくらい楽しくおしゃべりしました。もう一つ心に残っていることは新年交流会です。私は今回初めて着物を着せてもらって、とてもうれしかったです。友達も着物ですてきにもらったので、日本人より日本人らしく見えました。それから、私はホストファミリーと歌を歌って、大阪日本語教育センターの留学生として友人と一緒にタイの伝統的な歌にあわせて踊りました。最後にビンゴゲームをして皆はかわいいプレゼントをもらいました。私はたくさんの人と交流できて、いい経験になりました。毎年こんな会が行われたらいいなあと思いました。

このプログラムに参加させていただいて、日本人と楽しく過ごせるようになりました。留学生生活はいくらさびしくても一人ではないと思います。里親さんにはいつもお世話になって、本当にありがとうございましたと伝えたいです。

多くのたくさんの人と同じように、私も留学して初めて独り暮らしをした。初めのうちは色々な困ったことだらけだった。その中に日本人とのコミュニケーションがあった。それで、何とかせねばならぬことに気がついた。機会があって、大阪日本語教育センターを通じて私は留学生里親の会に参加することになった。

生まれて初めてのホストファミリーへの挑戦を契機にして初対面当日、私は感動というか不安というか言葉では表せない気持ちになった。最初の自己紹介でちょっと恥ずかしい思いをしたが、時間が経つと共に恥ずかしさ、怖さがなくなり、話が楽しくなった。私を迎えてくれたホストファミリーの松浦さんは、過去にも仕事でラオスに



半年住んだことがあるらしく、接しやすく、日本語が分からない時は私に分かり易いように言葉を選んで、ゆっくり話してくれた。



それで私とホストファミリーがいっそう親しくなったような気がした。更に、私だけでなく中国、韓国、ドイツ、ブルガリアからの友達が松浦ファミリーになった。私は大きくて温かいファミリーのメンバーになって本当に良かったと思う。

また、留学生里親の会への参加を通じてたくさんの体験ができた。とりわけ、滋賀県の遠足の時、日本人だけでなく色々な国からの留学生とも出会えたり、ヤンマーミュージアムを見学して彦根城へ行ってとても楽しかった。それに、母国のことを話したり日本、他の国のことを聞いたりして、日本語も以前より話す自信がついてきた。私は留学生里親の会に参加してとてもよかったと思う。留学生里親の会でしか得られない貴重な体験ができた。

## 里親

## 端崎 優子 (大阪市)

私の里子の名前はフウ程程さん。中国・無錫出身の大学生です。自分の年齢をごまかすわけではないけど、「子」というには少し大人なため、厚かましくも年の離れた妹の感覚でいます。長身の美人で、好奇心旺盛、どなたとも気さくに打ち解ける自慢の妹です。友人との食事会では女子トークで盛り上がり、会社の先輩と会えば故郷無錫について観光大使のようにPRし、はたまた友人の7歳になる長女の「1日家庭教師」もこなす。まさに国境も、老若男女の垣根を超える感じがします。あ、姉バカですね。

里親の会の新年会は「姉妹」で参加させていただきました。初めて着物を着る妹。それを喜んで撮影する姉。各ご家族の心のこもったパフォーマンスを楽しみ、ビンゴ大会で燃え、



すっかり気分が盛り上がった我々は早くも「来年も楽しみ♪出し物なにかする?」と翌年の話に花が咲く。とても暖かい雰囲気の中、ごく自然に色々な国の留学生と交流できる素敵な場だと感じました。大変な準備や着物の着付けをして下さった皆様に感謝します。



里親の会に入会当初は国際業務の仕事をしている関係もあり、「国際交流、相互理解のために頑張る」などと大層に構えていたように思います。今はもっと素直に、新しい家族が出来たようなうれしい気持ちです。現在程程さんは春節で故郷に帰省中です。次会うときはお花見が出来るかな?などと考えることが、今とても楽しいです。

## ふれあい独楽 (寝屋川市)

今年も恒例の新年交流会が大阪日本語教育センターにおいて、1月16日(土)に盛大に開催されました。年々、着物を着る里子ちゃんが増え、3年ほど前から、私たち「ふれあい独楽」のメンバー5人で髪結いを担当させていただいています。今年はなんと24名の希望者と聞き、当日我々は朝早く集合し、髪飾り、ゴム、ムース、等を買って揃え、うちの里子「袁さん」を連れて会場にスタンバイしました。「式典開始までに結い終えない!」というプレッシャー



と緊張感で、5人はそれぞれそれぞれながら、着付の済んだお嬢さんたちを待ちました。2か所の椅子に分かれて座っていただき、毛をとき、ゴムでくくり、ピンをさし、ムース、髪飾り

を付ける人、なかには三つ編みにしてくり上げたりして、手際よく仕上げたと思います。でも思いのほか時間がかかり、24名全員の髪結いを終えたのは、西村会長の挨拶も過ぎ、式も中場にさしかかっていました。楽しい催しにもかかわらず、私達は「着くずれはないか?」「髪のかずれはないか?」と気がかりでありませんでしたが、最後の記念写真撮影の時の皆さんの姿は、あでやかで、おしとやかで、何よりとってもきれいでした。



西村会長をはじめ、強力なスタッフの皆様、今後も数多くの留学生の交流にご尽力くださいます様お願い申し上げます。

## 交流遠足(彦根)

今年の交流遠足は10月3日、彦根にある「ヤンマーミュージアム」と「彦根城」に行きました。今年もバス1台では乗り切れない63名の方々にご参加いただき、楽しい1日をすごしました。

集合場所は恒例ですが、大和ハウス工業本社ビル1階をお借りしました。ここから遠足の始まりで、最新機器の展示物に興味津々、皆さん見入っておられました。バスは一路彦根をめざし、約2時間のロングドライブ、ワクワク感が高まります。ヤンマーミュージアムはヤンマーが2012年に創業100周年を記念して建てられた体験型ミュージアムです。トラクターやミニショベル、プレジャーボート等を、実際に実物に乗って、操作できるので、夫々のコーナーには長蛇の列、1時間30分の滞在時間では足りないくらい、あれやこれやと楽しみました。

昼食はこれも恒例のバイキング、お庭の美しい「ローザン

ベリー多和田」でいただきました。とても美味しいお食事をお腹いっぱい堪能しました。ゆっくりお庭を見る時間がなかったのが残念でした。

最後は国宝の「彦根城」。かなりの距離を歩きましたが、壮大な美しい彦根城でした。天守閣の階段はちょっと怖かったですね。ちょうど、ひこにゃんが博物館前に登場するという時間と同じ時間に入場したので、博物館回廊でのひこにゃんを写真撮影したり、彦根城散策をしている最中にひこにゃんに遭遇したりで、楽しさ倍増でした。

あっという間の楽しい一日、この遠足で里親さんと里子さんの交流が深まり、更に、里親さん同士、里子さん同士の交流の場にもなっていれば嬉しいです。また来年、たくさんのご参加をお待ちしています。



### 編集 後記

今年度もすべての行事が終了し、あとはこの里親里子便りの発行を残すのみとなりました。遠足も新年交流会もたくさんの方々にご参加いただき、にぎやかに楽しく交流することができました。皆様のご協力に心よりお礼申し上げます。当会の里親さんはほとんどの方が里親さんからのご紹介です。お友達やお知り合いの方々には是非この交流についてご紹介いただき、やってみようかしら?というファンを増やしていただきますよう、よろしくお願いいたします。初めは敷居が高く見えがちの様ですが、「初めてみたらそんなこともなく、楽しくて。」とおっしゃってくださる方がとても多くいらっしゃいます。交流を垣間見ることで身近に感じていただけるのかな?と思っています。

また、みなさまの楽しい交流をどうぞ投稿いただきたく、よろしくお願いいたします。

(事務局)